

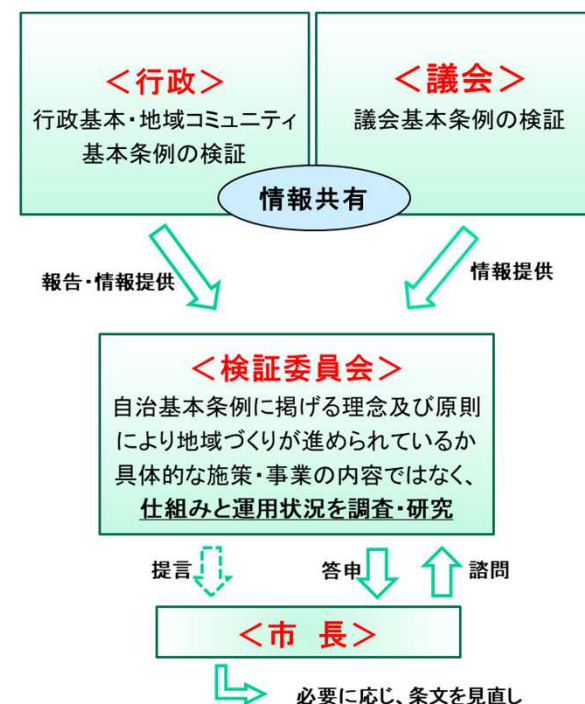
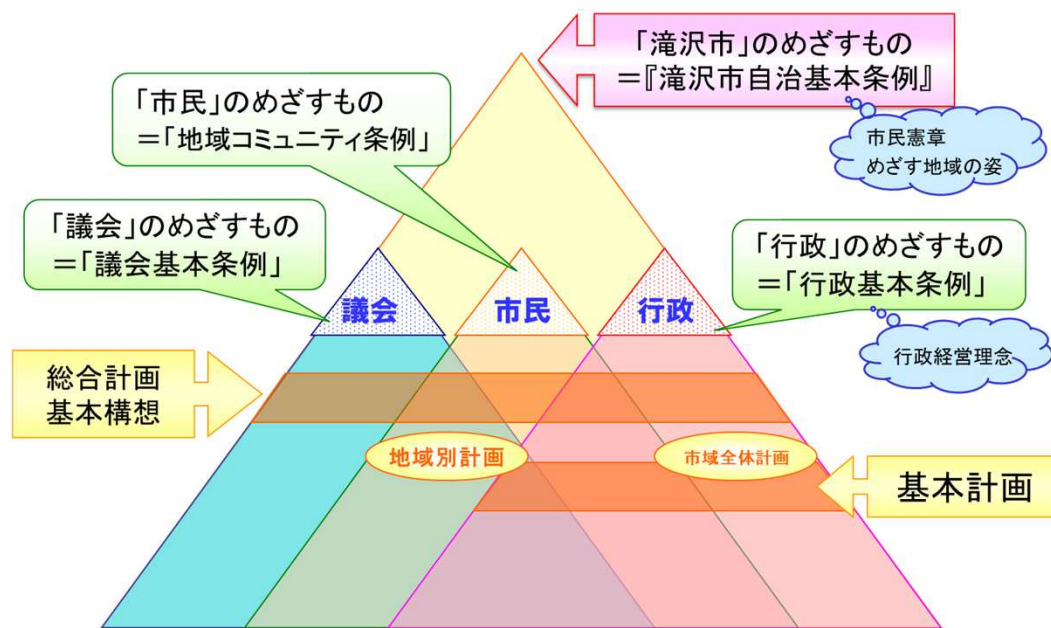
(第3期) 第2回滝沢市自治基本条例検証委員会資料



滝沢市企画総務部企画政策課

第1回検証委員会の振り返り

- 自治基本条例の概要及び検証委員会の役割の説明
 - 自治基本条例の基本構造と趣旨、並びに検証委員会が条例の運用状況を確認し市長へ提言・答申を行う役割について共有した。





第1回検証委員会の振り返り

・第2期検証委員会答申内容の説明

- － 第2期検証委員会において、市民参加や地域コミュニティの課題など、条例の運用上の問題点と今後の改善の方向性が示された内容を共有した。

滝沢市自治基本条例の 検証に関する答申

滝沢市自治基本条例検証委員会
(令和7年3月11日)

答 申

滝沢市自治基本条例検証委員会(第2期)は、令和3年3月24日から4年の任期で活動しており、これまでに6回、検証委員会を開催し、滝沢市自治基本条例の運用状況と地域づくりに関し審議してまいりました。これまでの経過を踏まえ、滝沢市自治基本条例第35条第2項の規定により、本条例の運用状況と本条例に基づく地域づくりに関して、当委員会を代表して市長に答申します。

令和7年3月11日

滝沢市長 武田 哲 様

滝沢市自治基本条例検証委員会
会長 役重 眞喜子



第1回検証委員会の振り返り

- 委員による意見交換
 - 地域における担い手不足や高齢化の深刻化
 - 若い世代が地域活動や自治会に参加しにくい状況
 - 市民参加の機会や手法が十分に活用されていない
 - 多様な主体(NPO・企業等)との連携強化の必要性
 - 地域コミュニティの維持・継続に対する不安
 - 条例の理念と現実の地域活動とのギャップ
 - 自身の立場からはどのように関わるべきか不明確さ
 - 資料2 たきざわ未来創造会議活動記録
 - 検証委員会として具体的な役割や進め方への疑問



第1回検証委員会で確認された事項

- 本委員会は、条例の『運用状況』を検証し、市長へ答申を行うこと。
- 検証は個別事業ではなく、制度や仕組みの機能状況を対象とすること。
- 市民・地域の実態を踏まえた検証が必要であること。





第1回検証委員会で明らかになった課題

(1) 検証の進め方がイメージしづらい

- ・条文と実態の結びつきが分かりにくい

(2) 検証対象の捉え方が不明確

- ・条文をどこまで検証するのかが不明確

(3) 逐条解説が制定以降見直されていない

(4) 委員の役割認識が不十分

- ・専門性の要否や発言の方向性が不明確

(5) 地域の実態課題

- ・担い手不足、若年層の参加、地域活動の継続性等



第1回検証委員会の到達点

- 条例の理念及び目的については概ね共有された
- 検証の対象は『条例の運用実態』であることが確認された
- 今後は具体的なテーマ設定が必要であることが整理された





第2回検証委員会につなぐ論点

- (1) 検証テーマの設定(重点分野の選定)
- (2) 検証方法の具体化(ワーキンググループの活用)
- (3) 委員の役割の明確化(市民目線での意見反映)





第2期検証委員会答申事項に対する 市の取組状況

- 第2期答申の基本的考え方

第2期検証委員会においては、自治基本条例の理念の形骸化や社会情勢の変化との乖離が懸念され、条例の運用状況について不断の見直しが必要であるとされた。



主な答申事項と市の取組状況

	【答申の指摘】	【市の取組】	【評価】
第4章：地域づくりの推進（市民参加・情報共有）	・市民参加の会の開催単位、持ち方が十分でない。 ・多様な世代の参加が困難 ・市民参加条例の未整備	・「市長と話そう」（旧市政懇談会）の見直し及び通年開催 ・タウンミーティングの実施 ・無作為抽出による自分ごと化会議の実施	・参加機会は拡充されているが、制度化は未整理
第5章：地域コミュニティの運営	・担い手不足 ・人材育成目標の不明確 ・若者やNPOとの連携不足	・モデル地域での課題検討 ・地域別計画の振り返り ・人材育成の検討	・課題認識は進んでいるが、具体化は途上
第6章：行政運営の原則	・審議会委員公募・議事録公開の不十分	・未公開議事録の公開への是正	・一部改善済だが、継続的対応が必要





主な答申事項と市の取組状況

	【答申の指摘】	【市の取組】	【評価】
第7章：議会運営	・市民参加型の議会評価が未整備 ・情報発信（公開）の不足	・議会事務局との情報共有	・引き続き検証が必要
第9章：権利及び責務	・職員育成の見直し ・職員の地域参加促進	・職員エンゲージメント向上の検討 ・組織体制の見直し検討	・内部検討は進行中
第11章：条例の実効性確保	・多様な市民意見の反映 ・委員会運営の見直し	・委員構成の見直し ・ワーキンググループ導入予定	・第3期委員会の運営に反映予定

市民参加、地域コミュニティ、人材育成については、課題が顕在化しており、市の取組は進みつつあるが、制度化や実効性の面では継続的な検証が必要である。





令和8年度の検証テーマについて

検証テーマ(案)

- (1) 第4章 地域づくりの推進
- (2) 第5章 地域コミュニティの運営



第3期検証委員会での検証の方向性

- ・第2期答申で示された課題を踏まえ、

第3期検証委員会では

運用実態の検証を行い、実質的な改善につなげることが求められる。

特に、

第4章「地域づくりの推進（市民参加・情報共有）」及び第5章「地域コミュニティの運営」を重点的に検証することとする。



第4章 地域づくりの推進の 概要及び主な検証内容

総合計画、情報共有、市民参加等、地域づくりを推進するための制度や仕組みを定めている。

【主な検証視点】

- 市民が参加しやすい仕組みとなっているか
- 市政に関する情報がわかりやすく提供されているか
- 市民の意見や提案が市政に反映されているか
- 各種制度（懇談会、会議等）が実効的に機能しているか



第5章 地域コミュニティの運営の概要及び主な検証内容

地域コミュニティの役割や運営の原則を定め、地域づくりの担い手について規定している。

【主な検証視点】

- 地域活動の担い手が確保されているか
- 若い世代を含めた多様な市民の参加が進んでいるか
- 地域内の団体間の連携が図られているか
- 行政による支援が適切に行われているか



2つのテーマの関係性

第4章は「地域づくりの仕組み」を、第5章はその「担い手」を規定している。

両章を一体的に検証することで、制度と実態の両面から地域づくりの課題を把握することが可能になる

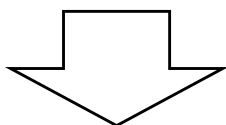


ワーキンググループ の設置について



検証委員会の課題

- 開催回数も少なく具体的な検証が難しい
- より多様な市民の意見を集める必要性



委員数名と「自分ごと化会議」経験者等による
ワーキンググループを設け、委員会で決定した
テーマの検証を行う。

ワーキンググループの位置づけと 日程案

第2回検証
委員会

6/1

テーマの
選定

整理
検証
判断

自分ごと化会議経験者等(市民目線)によるWG
(月1回程度:7月から12月まで)
オンライン併用のハイブリッド会議形式

WG
回1
概

概要説明と
具体事例に
ついての意
見交換
アンケート
実施

7月

WG
回2
概

逐条解説の
説明とアン
ケート結果
の分析

8月(予定)

WG
回3
概

逐条解説記
載内容の分
析・検討

10月(予定)

WG
回4
概

報告書記載
内容の検討

11月(予定)

第3回検証
委員会

年度末

WG検討報
告を踏まえ
た

整理
検証



今後の進め方

令和8年度は以下の流れで検証を進める。

- 第2回検証委員会において検証テーマの決定
- ワーキンググループを設置し、具体的な検証を実施
- 年度末に検証結果を取りまとめ、委員会において整理・検証
- 必要に応じて条例の見直しや改善提案を行う



自治基本条例検証委員会のスケジュール

年度	地域コミュニティの動き		自治基本条例検証委員会
令和7年度	滝沢市第2次総合計画	前期基本計画	・自治基本条例と委員会の役割の理解 ・委員会の進め方について
令和8年度			・第4章、第5章（重点検証）
令和9年度			・他章のテーマ設定による検証 ・令和8・9年度のまとめとして中間答申
令和10年度			・他章のテーマ設定による検証 ・全章横断的な確認（総括検証）
令和11年度			・市長諮問に対する答申の検討について

地域別計画の振り返り

委員任期（4年間）

後期基本計画

